

令和6年度

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

事業報告

一般社団法人日本物流団体連合会

(総括)

令和6年度は、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルと周辺諸国との紛争について、終息が見えず長期化する一方、アメリカ大統領選挙の結果や中国の景気停滞の影響もあり、世界景気の動向が見通せない状況であった。我々物流業界においては、4月にいよいよ「物流の2024年問題」トラックドライバーの時間外労働規制の適用が開始されたほか、猛暑や大雨等自然の変化の影響を大きく受け、カーボンニュートラルへの対応など、様々な課題に直面した1年であった。

特に「物流の2024年問題」においては、国において改正物流法の公布、物流関係予算の大幅な増加や、「新たなモーダルシフトに向けた対応方策」の公表等さまざまな動きがあり、「持続的な物流の発展」を目指す国の強い意志が示された年であった。

このような状況のなか、物流連においても「物流の2024年問題」を見据えて新たな取り組みを実施する等、様々な活動を進めてきた。

まず「物流を等身大で社会一般から見ていただく活動」として、会員企業のご協力のもと学生を対象とした物流業界セミナーや合同説明会を開催したほか、少人数の学生を対象とする物流業界セミナー・座談会をWebで新たに開催し、大学での寄付講座や学内セミナーも継続して行い、より多くの学生に「リアルな物流業の実態と物流業の重要性」を認識してもらう機会を提供した。

また転職希望者に対して物流業を認識してもらうことを目的として、物流連として初めて「転職フェア」に出展を行ったほか、昨年度に引き続き一般紙に意見広告を掲載する等、人材育成と広報活動の強化を継続した。

「国際的な課題への取り組み強化」では、一昨年より実施してきたベトナムに対する調査のとりまとめを行い、それに続くものとしてインドの物流事情の調査を開始したほか、世界情勢の不安定化や感染症拡大により中止してきた海外物流視察団を9年ぶりに結成し、タイ・ベトナムの物流施設に対する視察を行った。

「労働力不足・物流の生産性向上を目指した取り組み」については、ダイバーシティ推進ワーキングチームにおいて、障害者の活躍推進をテーマに、調査検討を開始し、国が主催する「官民物流標準化懇談会」及び傘下の分科会に積極的に参画したほか、コロナ禍等により中止していた施設見学会について、先進技術の活用等に関する検討の一環として、8年ぶりに実施した。

「物流環境対策への取り組み」では「物流環境大賞」表彰を実施したほか、従来実施していた「モーダルシフト取り組み優良事業者賞」について、荷主も共同で応募できるようにしたうえで、装いも新たに「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」として実施した。

このほか、1月にはこれからの物流について考えるきっかけとするため、「物流連セミナー」

を開催し、また昨年に引き続き、2月には国土交通省物流・自動車局も交えて主要メディアとの論説委員・解説委員との懇談会を開催し、意見交換を行った。

物流業界における労働力不足の問題は、2024年だけのものでは決してなく、少子高齢化の進行や人口の都市への集中等に伴い今後も継続し、深刻化する問題である。担い手不足の問題だけでなく、自然災害への対応やカーボンニュートラルへの対応等、さまざまな課題に対応し、日本の産業や社会を支える重要なインフラである物流の持続的成長を今後も実現していくためには、物流構造の革新的かつ根幹からの改革が必要で、国や地方自治体をはじめ、荷主の皆様・一般消費者の皆様など関係者すべてが連携・協力して、各モードの枠を超えた「モーダルコンビネーションの最適解」を追求していく必要がある。

物流業界のさらなる発展に寄与するため、以上のような問題意識のもと、官民連携、他産業との連携を強化するとともに、より一層充実した取り組みを行っていく。

目 次

I. 法人の状況に関する重要な事項	1 P
1. 業務活動の推進（委員会活動等）	1 P
(1) 基本政策委員会関係	1 P
(2) 人材育成・広報委員会関係	2 P
(3) 国際業務委員会関係	7 P
(4) 物流環境対策委員会関係	11 P
(5) 経営効率化委員会関係	15 P
(6) その他	18 P
2. 公益目的支出計画による事業活動	19 P
実施事業＜継続事業＞に関する事業報告	19 P
3. 広報・情報提供・出版事業等の活動	20 P
(1) 会員及び外部への情報提供等	20 P
(2) 出版事業	24 P
(3) 研修事業	24 P
(4) 物流EDI事業	24 P
(5) サイバーセキュリティ関連	24 P
4. 総会・役員会の開催状況	26 P
(1) 総会	26 P
(2) 正副会長会議	26 P
(3) 理事会	26 P
5. 会員の異動	28 P
II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等	28 P
III. 事業報告の付属明細書について	28 P

I. 法人の状況に関する重要な事項

1. 業務活動の推進（委員会活動等）

（１）基本政策委員会関係

①第３５回基本政策委員会

- ・開催日：令和６年９月２５日（水）

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：１０１名（対面１１名、オンライン９０名）
- ・講 師：国土交通省物流・自動車局物流政策課長 紺野博行氏
- ・テーマ：「最近の物流政策について」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：１４名
- ・議 題：a. 令和７年度の物流関係の予算概算要求等の概要について（国交省）
b. 物流連の令６年度上期事業活動について
c. その他

委員会では、最初に紺野物流政策課長から「令和７年度の物流関係の予算概算要求等の概要」について説明があり、これを受けて各委員より活発な質疑応答があった。

続いて、事務局から物流連の上期の活動状況等の報告が行われ、引き続き官民連携による課題解決に向けた取り組みの重要性が確認された。

②第３６回基本政策委員会

- ・開催日：令和７年３月２７日（木）

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：６８名（対面１２名、オンライン約５６名）
- ・講 師：国土交通省物流・自動車局物流政策課長 紺野博行氏
- ・テーマ：「最近の物流政策について」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：１４名
- ・議 題：a. 物流連の令和７年度事業計画（案）について
b. その他

委員会に先立つ講演会では、紺野物流政策課長から物流業界の現状について説明

があった後、令和6年2月に決定された「2030年度に向けた政府の中長期計画」の進捗状況と次期「総合物流施策大綱」の策定に向けた対応について詳細な説明があった。

委員会では、事務局から物流連の令和7年度事業計画（案）の説明が行われ、活発な質疑応答がなされた。

（２）人材育成・広報委員会関係

①令和6年度第1回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和6年9月20日（金）
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：21名（対面16名、オンライン5名）
- ・議 題：a. 令和6年度 上期活動報告
b. 令和6年度 「物流業界研究Webセミナー」の活動報告
c. 令和6年度 下期活動計画（案）

委員会では、赤間委員長の挨拶の後、上期の活動として主に「大学寄附講座」や「大学学内セミナー」、中学生を対象とした「職場体験」、「物流業界研究Webセミナー」等について事務局から報告があり、「物流業界研究Webセミナー」については継続して実施していくことの重要性が確認された。

続いて、下期の活動計画として、就職活動を控える学生等を対象とした「物流業界合同説明会」をWebと対面で開催することや、「大学寄附講座」、「物流見学ネットワーク」等の取り組みのほか、新たに、大学生を対象に物流業界の基礎知識を学べる機会としてWeb形式の座談会を実施する旨の説明があり、下期活動計画（案）は原案通り承認された。

②令和6年度第2回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和7年3月26日（水）
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：15名（対面7名、オンライン8名）
- ・議 題：a. 令和6年度 年間活動報告
b. 令和6年度 「物流業界合同説明会」の活動報告
c. 令和7年度 年間活動計画（案）

委員会では、赤間委員長の挨拶の後、事務局から年間活動報告として、上期の活動のほか、下期の「大学寄附講座」、「大学学内セミナー」、「物流業界合同説明会」、「物流業界セミナー&座談会」の実施報告、会員の若手で構成する「物流いいとこみつけ隊」の活動状況等の報告が行われた。「物流業界合同説明会」については継続して実施していくことの重要性が確認された。

続いて、事務局から令和7年度の活動計画（案）の説明があり、令和6年度と同様に継続する事業を確認したほか、新たに「転職や再就職などの求職者を対象にした魅力発信に関する取り組みの検討」等についても説明し、年間活動計画（案）は原案通り承認された。

③令和6年度「物流業界研究Webセミナー」の開催

主に就職活動を控える学生に、「物流業の社会的重要性や先進性などに対する理解を深め、業界の魅力を感じてもらうこと」を目的として、毎年夏に「物流業界インターンシップ」を開催してきたが、学生の就職活動の早期化に対応するため、今年度より開催時期や運営方法の見直しを行った。見直し後の内容としては、主にインターンシップや仕事体験の参加を目的とする若い世代（大学生）を対象とし、従来の目的に加え「インターンシップや仕事体験に参加する物流企業を発見する機会を提供すること」を新たな目的としたうえで、「物流業界研究Webセミナー」として開催した。

Web形式で6～7月に計3回開催し、参加学生は企業が構えるZoom上のルームを自由を選択して訪問しながら、各社の会社概要や事業内容、役割や使命、インターンシップ等の様々な情報を収集した。また、特別プログラムとして、物流連が行う業界全般に関する講演会や会員企業の若手によるトークセッション、質問会などの企画を用意した。

全体として、参加学生数はのべ578名、参加企業数は34社だった。

【1回目】

- ・開催日 令和6年6月19日（水）
- ・参加学生数 162名
- ・参加企業数 27社

【2回目】

- ・開催日 令和6年7月4日（木）
- ・参加学生数 207名
- ・参加企業数 28社

【3回目】

- ・開催日 令和年7月20日（土）
- ・参加学生数 209名
- ・参加企業数 20社

【プログラム内容】（各日程共通）

- ・各企業説明（各企業1クール30分、8クール）
- ・特別プログラム1：講演会「物流業界の現状と未来 求める人材像について」
- ・特別プログラム2：トークセッション
- ・特別プログラム3：投票形式 ぶっちゃけ質問会！

※参加企業一覧（50音順）

(株)イーソーコードットコム／上野トランステック(株)／(株)ANA Cargo／
SBSフレック(株)／NRS(株)／NX商事(株)／F-LINE(株)／花王ロジスティクス(株)／
ケイヒン(株)／鴻池運輸(株)／佐川急便(株)／佐川グローバルロジスティクス(株)／山九(株)／
鈴与(株)／西濃運輸(株)／セイノースーパーエクスプレス(株)／センコー(株)／第一貨物(株)／
東洋埠頭(株)／トナミ運輸(株)／(株)ニチレイロジグループ本社／(株)日新／日鉄物流(株)／
日本貨物鉄道(株)／日本梱包運輸倉庫(株)／日本通運(株)／日本パレットレンタル(株)／
日本ロジテム(株)／福山通運(株)／(株)丸運／丸全昭和運輸(株)／(株)ヤマタネ／
ユーピーアール(株)／ロジスティード(株)

④令和6年度「物流業界合同説明会」の開催

就職活動を控える学生等を対象に物流業を広く理解してもらう目的で、多様な業種の物流企業が一堂に集結し、業界研究及び採用情報等を得る機会を与える合同説明会をWeb、大阪、東京で開催した。

各社が会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等の企業情報を説明するほか、特別プログラムとして、物流連による講演会や若手社員の実体験やアドバイス等を直接聞くことのできるトークセッション等の企画を用意した。

全体として、参加学生は約474名、参加企業数は39社だった。

【Web開催1回目】

- ・開催日：令和6年12月14日（土）
- ・参加学生数：123名
- ・参加企業数：28社

【Web開催2回目】

- ・開催日：令和7年1月10日（金）
- ・参加学生数：171名
- ・参加企業数：36社

【東京会場】

- ・開催日：令和7年2月7日（金）
- ・参加学生数：124名
- ・参加企業数：35社

【大阪会場】

- ・開催日：令和7年2月15日（土）
- ・参加学生数：56名
- ・参加企業数：20社

【プログラム内容】（各日程共通）

- ・各企業説明（各企業1クール30分、Web各日10クール、会場各日7クール）
- ・特別プログラム1：講演会「物流業界の現状と未来 求める人材像について」
- ・特別プログラム2：トークセッション
- ・特別プログラム3：投票形式 ぶっちゃけ質問会！（Webのみ）

※参加企業一覧（50音順）

(株)イーソーコドットコム／上野トランステック(株)／(株)ANA Cargo／
 SBSフレック(株)／NRS(株)／NX商事(株)／F-LINE(株)／花王ロジスティクス(株)／
 ケイヒン(株)／鴻池運輸(株)／佐川急便(株)／佐川グローバルロジスティクス(株)／山九(株)／
 セイノースーパーエクスプレス(株)／センコー(株)／第一貨物(株)／中越運送(株)／
 東京九州フェリー(株)／東洋埠頭(株)／トナミ運輸(株)／(株)ニチレイロジグループ本社／
 (株)日新／日鉄物流(株)／日本貨物鉄道(株)／日本梱包運輸倉庫(株)／日本通運(株)／
 日本オイルターミナル(株)／日本石油輸送(株)／日本パレットレンタル(株)／日本ロジテム(株)／
 濃飛倉庫運輸(株)／福山通運(株)／(株)丸運／丸全昭和運輸(株)／三井倉庫(株)／
 三菱倉庫(株)／安田倉庫(株)／ユーピーアール(株)／ロジスティード(株)

⑤「ロジスティクスPRグループ2024～物流いいところみつ隊」会合の開催

会員企業の若手社員で構成する物流いいところみつ隊とともに、物流業界研究Webセミナーや物流業界合同説明会の開催等をテーマに、運営方法や当日の流れについて意見交換を計5回行った。

- ・開催日：令和6年5月8日（水）、8月28日（金）、9月27日（金）、
10月28日（月）、令和7年3月19日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階中会議室 ※オンライン併用

⑥大学寄附講座の実施

物流各界を代表するトップマネジメントがそれぞれの立場から物流事情を講義する大学寄附講座を、前期2校、後期1校で実施した。

- ・前期：青山学院大学 毎週月曜日（令和6年4月8日～7月22日）
登録学生 200名
東京都立大学 毎週火曜日（令和6年4月9日～7月16日）
登録学生 209名
- ・後期：横浜国立大学 毎週木曜日（令和6年10月17日～令和7年1月30日）
登録学生 174名

⑦学内セミナーへの講師派遣

各大学が学生の業界研究のために実施する「学内セミナー」に参加し、物流連から物流業界の現状と未来や、求める人材像等についての講義を以下の大学で実施した。

- ・清泉女子大学（動画提供） 令和6年6月6日（木）

- | | |
|----------------|---------------|
| ・東京女子大学（オンライン） | 令和6年6月17日（月） |
| ・拓殖大学（オンライン） | 令和6年11月29日（金） |
| ・杏林大学（動画提供） | 令和6年11月29日（金） |

⑧物流見学ネットワークの受け入れ

若い世代への物流業の認知度向上を目指し、会員企業の全国各地の物流施設の見学会を物流連ホームページで斡旋・紹介している。

登録されている物流施設を更新・拡充し、4月現在68拠点を掲載している。

令和6年度は28カ所で受け入れを実施し、1,274名が見学を行った。

・小 学 校	13校	1,025名
・中 学 校	5校	110名
・高 校	2校	12名
・大 学	7校	107名
・教育委員会	1件	20名

⑨中学生職場体験の受け入れ

主に中学生を対象として職場体験実習を行い、実際に「働く」ことを体験するとともに、物流の仕組み等を勉強する機会を以下2校に提供した。

- ・新宿区立牛込第三中学校

参加人数：3名 日程：令和6年9月11日（水）～9月13日（金）

- ・東京都立白鷗高等学校附属中学校

参加人数：3名 日程：令和6年11月12日（火）～11月14日（木）

⑩物流学習の拡充

新たな取り組みとして、大学生を対象として、物流業の社会的重要性や先進性、基礎知識への理解を深め、業界の魅力や興味を持ってもらうことを目的とし、物流業の基礎知識が学べる「物流業界セミナー&座談会」をWebにて計3回開催した。

- ・令和6年9月30日（月） 10：00～12：00 参加者：7名
- ・令和6年10月23日（水） 10：00～12：00 参加者：5名
- ・令和6年11月11日（月） 10：00～12：00 参加者：3名

⑪荷主や一般消費者向けに、物流の認知度を上げる取り組みの充実強化

広く消費者に向けて、物流が危機的な状況にあることを伝え、持続可能な物流の実現のためにどのようにすればよいか考えていただく契機とすることを狙いとし、新聞への意見広告を活用して、アンケート調査を実施した。

【概要】

- ・掲載日：令和7年3月26日（水）
- ・掲載紙：朝日新聞 東京・大阪セット版 朝刊15段（1面）カラー

⑫活躍する女性の紹介

物流業界における女性の活躍状況を広く社会に発信するため、物流業界で働く女性社員にインタビューを実施し、業務の内容や物流業でのやりがい、今後の抱負等を会報の「会員企業をたずねる 女性の力、女性の声」のページや物流連のホームページで紹介した。

- ・佐川グローバルロジスティクス(株) 会報108号(6月発行) ホームページ掲載
- ・第一貨物(株) 会報109号(9月発行) ホームページ掲載
- ・東京九州フェリー(株) 会報110号(12月発行) ホームページ掲載
- ・日本通運(株) 会報111号(3月発行) ホームページ掲載

また、物流連発行の「数字でみる物流2024年度」の表紙には物流業界で働く女性社員の業務風景を撮影して掲載し、インタビュー記事を会報110号の紹介ページにて掲載した。(掲載企業：ヤマトホールディングス(株)、スプリング・ジャパン(株))

⑬マイナビ主催「マイナビ転職フェア東京」に出展

新たな取り組みとして、転職者や再就職を考えている求職者を対象に、物流業界や物流企業の社会的重要性や先進性を伝え、就職先として物流業界を選んでもらう目的とし、株式会社マイナビ主催の「マイナビ転職フェア東京」に物流連としてブースを出展した。

当ブースに着席した求職者36名に対し、物流業界の説明や会員企業の採用情報等について案内を行った。

【概要】

- ・開催日 : 令和7年3月20日(木) 11:00~18:00
- ・会場 : 東京国際フォーラム
- ・ブース名 : 【物流業界】転職相談コーナー ～運ぶだけじゃない！魅力をご紹介～

(3) 国際業務委員会関係

①令和6年度第1回国際業務委員会

- ・開催日 : 令和6年10月10日(木)

第一部「講演会」

- ・会場 : 全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者 : 91名(対面24名、オンライン67名)
- ・講師 : 国土舘大学 政経学部教授 助川成也氏
- ・テーマ : 「揺れる世界の中でのASEANの現状と課題 -物流を中心に-

第二部「委員会」

- ・会場 : 全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者 : 32名(対面24名、オンライン8名)

- ・議 題：a. 最近の国土交通省における国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
b. 令和6年度活動上期活動報告及び令和6年度下期活動計画について

委員会では、伴野委員長の挨拶の後、国土交通省 物流・自動車局 牧野国際物流室長から最近の国土交通省における国際物流政策の取り組みについて説明が行われた。

続いて、事務局から上期の活動報告として、海外物流戦略ワーキングチームで進めている海外物流事情実態調査（インドが対象国）に関する経過報告を行った。

次に、下期の活動計画として、「海外物流事情実態調査」の今後の進め方、「コールドチェーン物流サービスの規格普及に向けた取り組み」に係る会議の予定等について説明が行われ、原案通り承認された。

②令和6年度第2回国際業務委員会

- ・開催日：令和7年3月21日（金）

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：36名（対面19名、オンライン17名）
- ・講 師：株式会社国際協力銀行 高橋勝茂氏
- ・テーマ：「JBIC as a Navigator ～日本企業の海外進出支援について～」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：30名（対面19名、オンライン17名）
- ・議 題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
b. 令和6年度活動報告について
c. 令和7年度活動計画（案）について

委員会では、伴野委員長の挨拶の後、国土交通省 物流・自動車局 牧野国際物流室長から最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて説明が行われた。

続いて、事務局からISO/TCでの活動内容やインドを対象国とした海外物流事情実態調査の中間報告など令和6年度の活動報告があった。

次に、令和7年度の活動計画（案）については審議が行われ、本年に引き続き「物流企業の国際展開に資するための施策を実施する」をスローガンに掲げ、インド物流事情実態調査の実施、物流分野における国際標準化に関する取り組み等、原案通り承認された。

③海外物流戦略ワーキングチームの活動

国際業務委員会では、国土交通省幹部を交えたワーキングチームを結成し、海外において我が国の物流事業者がどのような問題を抱え、どのような要望を持っているかを把握し、一企業を超える横断的問題について検討を行うため、会合を定期的に関

催している。令和6年度は計4回の会合を開催した。

海外物流事情実態調査は令和6年から令和7年にわたり行い、対象国はインドとし、本年はWebの活用やデスクトップ調査等により調査を実施した。なお、現地調査については、令和7年4月20日から27日にインド現地調査を行う予定。本年からは、海外物流戦略ワーキングチームメンバー企業からの参加を募って行うこととしたが、メンバー企業の日程調整ができないなどの理由から事務局のみで行うこととなった。

また、国土交通省による講演を通じて同省の国際物流政策に関する理解を深め、情報共有を図るとともに、同省が行う各種アンケートへの協力等を行った。

*** 第1回ワーキングチーム会合**

- ・開催日：令和6年7月18日(木)

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：147名（対面31名、オンライン116名）
- ・講師：ジェトロ 調査部 主幹（南西アジア）河野将史氏
調査部 アジア大洋州課 深津佑野氏
- ・テーマ：「インドのビジネス環境と機会」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：46名（対面31名、オンライン15名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
b. 海外物流戦略WTの活動について（事務局）

*** 第2回ワーキングチーム会合**

- ・開催日：令和6年9月19日(木)

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：108名（対面27名、オンライン81名）
- ・講師：拓殖大学 国際部 教授 椎野幸平氏
- ・テーマ：「モディ政権の物流に与える対外経済とその背景」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：42名（対面27名、オンライン15名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
b. 海外物流戦略WTの活動について（事務局）
海外物流事情実態調査（インド）アンケート実施について（事務局）

*** 第3回ワーキングチーム会合**

- ・開催日：令和6年12月12日(木)

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：93名（対面25名、オンライン68名）
- ・講師：株式会社 フォーイン 企画調査部 部長 前田偉康氏
- ・テーマ：「自動車生産世界4位のインド、小型車のグローバル生産拠点化進む」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：50名（対面25名、オンライン25名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
b. 海外物流戦略 WT の活動について（事務局）
海外物流事情実態調査（インド）アンケート結果について（事務局）

*** 第4回ワーキングチーム会合**

- ・開催日：令和7年2月20日(木)

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：62名（対面20名、オンライン42名）
- ・講師：一般財団法人 日本規格協会
システム系・国際規格開発ユニット 水野由紀子氏
- ・テーマ：「物流事業者／顧客における日本主導の国際規格策定」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：34名（対面20名、オンライン14名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
b. 令和5年度活動報告、令和7年度活動方針（事務局）
海外物流事情実態調査（インド）デスクトップ調査中間報告（事務局）

④コールドチェーン物流サービス規格等の普及に向けた取り組み

日本主導のコールドチェーン物流サービス規格である日本規格協会規格(BtoB)と中国主導のフィジカルインターネットセンター規格(イノベーティブロジスティクス)の両規格の普及・検討に向けた取り組みが官民連携して進められている。

日本主導の ISO31512(BtoB)については昨年12月に ISO 規格として発行され、今後は、日本規格の策定と普及に向けた活動が引き続き行われると考えられ、この規格については、TC315 委員・日本規格の作成についても委員として参画する予定。

イノベーティブロジスティクス規格については、中国及び韓国の動向を見ながら、日本企業に不利にならない規格になるよう防戦している状況となっている。この規格についても委員として参画しており、来年度も継続する予定。

(4) 物流環境対策委員会関係

① 令和6年度 第1回物流環境対策委員会

- ・開催日：令和6年9月24日(火)

第一部 講演会

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：87名（対面18名、オンライン69名）
- ・講 師：F－L I N E株式会社 江藤 正明 氏
- ・テーマ：「冷凍食品の環境にやさしく持続可能な幹線輸送の実現について」

第二部 委員会

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：27名（対面18名、オンライン9名）
- ・議 題：a. 令和6年度上期活動報告について
b. 令和6年度下期活動計画（案）について

委員会では、上期の活動として、第25回物流環境大賞の表彰結果、「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」の活動として、鈴木由緒による講演・意見交換（第1回会合）や施設見学会（第2回会合）を実施した報告を行った。

また、下期活動計画（案）として、第1回モーダルシフト優良事業者大賞表彰の表彰式を11月に、第23回グリーン物流パートナーシップ会議・優良事業者表彰を12月に行うこと、情報交換会の活動として物流施設の見学会を予定していることなどを説明し、下期活動計画は原案通り承認された。

② 令和6年度 第2回物流環境対策委員会

- ・開催日：令和7年3月13日(木)

第一部 講演会

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：36名（対面15名、オンライン21名）
- ・講 師：株式会社コクヨロジテム 松浦 鉄男 氏
- ・テーマ：『物流2024年問題』への対策とモーダルシフト推進」

第二部 委員会

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：22名（対面15名、オンライン7名）
- ・議 題：a. 令和6年度下期の活動報告について
b. 令和7年度の活動計画（案）について

委員会では、令和6年度の活動報告と、令和7年度活動計画について審議が行われ、「物流環境大賞」や「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」等のさらなる充実を図っていくことを含め、原案通り承認された。

③ 第25回「物流環境大賞」の表彰

物流部門における、環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰する制度である「物流環境大賞」の表彰を行った。

本年度は29件の応募があり、のべ61社を表彰した。

- ・表彰式開催日：令和6年6月28日(金)
- ・会場：第一ホテル東京

(受賞企業一覧)

a. 物流環境大賞（1件）

- ・味の素冷凍食品(株)／F－L I N E(株)

b. 低炭素物流推進賞（3件）

- 1) 大成ユーレック(株)／日本通運(株)／日本貨物鉄道(株)
- 2) ネスレ日本(株)
- 3) フジパン(株)／(株)リョーユーパン／(株)フランソア／(株)タカキベーカリー／佐川急便(株)

c. サステナブル活動賞（1件）

- ・日本通運(株)

d. 先進技術賞（該当なし）

e. 日本物流記者会賞（1件）

- ・佐川急便(株)

f. 特別賞（19件）

- 1) カバヤ食品(株)／リンク＆リンケージ(株)／(株)ロッテ／(株)曙運輸／全国通運(株)／日本貨物鉄道(株)／日本石油輸送(株)
- 2) 共栄社化学(株)
- 3) (株)クラベ／ユニ・チャーム(株)／鴻池運輸(株)／ロジスティードエクスプレス(株)／ロジスティード(株)
- 4) 佐川急便(株)／西濃運輸(株)
- 5) 佐川急便(株)／(株)ユーグレナ
- 6) 山九(株)／三井化学(株)
- 7) 山九(株)／三井化学(株)／徳山通運(株)
- 8) 新日本海フェリー(株)／キリングループロジスティクス(株)／マリネックス(株)

- 9) セイノーホールディングス(株)
- 10) 東京九州フェリー(株)／(株)ブリヂストン／ブリヂストン物流(株)／マリネックス(株)
- 11) 日本梱包運輸倉庫(株)
- 12) 日本通運(株)
- 13) 三井倉庫(株)／いすゞロジスティクス(株)
- 14) ヤマト(株)／(株)カナメカーゴ
- 15) (株)ランテック
- 16) (株)ロジスティクス・ネットワーク／(株)ウオロク／(株)シノプス
- 17) (株)ロジスティクス・ネットワーク／ニチレイロジグループ地域各社
- 18) AS ブレーキシステムズ(株)／碧南運送(株)／鈴与(株)／鈴与カーゴネット(株)
- 19) SBS 東芝ロジスティクス(株)／(株)ジャパディディスプレイ

④ 第1回「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」の実施

モーダルシフトの促進を図るため、モーダルシフトを積極的に推進した優良な事業者を顕彰する制度として、昨年度までの「モーダルシフト取り組み優良事業者表彰」制度から変更して、広く荷主企業も応募できるようにした「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」の表彰を行った。本年度は、16件の応募があり、のべ41社を表彰した。

- ・開催日：令和6年11月21日(木)
- ・会場：海運クラブ

(受賞企業一覧)

- a. 大賞(1件)
 - ・(株)コクヨロジテム／日本通運(株)
- b. 革新的取組み部門賞(2件)
 - 1) (株)シジシージャパン／(株)ラルズ／(株)フレスタ／
原信ナルスオペレーションサービス(株)／全国通運(株)
 - 2) ナイキジャパングループ合同会社／佐川グローバルロジスティクス(株)／
佐川急便(株)／(株)アッカ・インターナショナル
- c. 連携・協働部門賞(2件)
 - 1) 味の素(株)／味の素食品(株)／F-LINE(株)
 - 2) 三井化学(株)／丸全昭和運輸(株)／(株)ニヤクコーポレーション／安全運輸(株)
- d. 継続拡大部門賞(1件)
 - ・山九(株)
- e. 効率化・省人化部門賞(2件)
 - 1) センコー(株)
 - 2) 富士フイルムロジスティックス(株)／鈴与(株)／鈴与カーゴネット(株)
- f. 奨励賞(8件)

- 1) (株)OCC／(株)サンキュウ・トランスポート・東京／(株)商船三井さんふらわあ／
鉄伸運輸(株)
- 2) 佐川急便(株)
- 3) シーピー化成(株)／佐川急便(株)
- 4) タカラ化工(株)／鈴与(株)／鈴与カーゴネット(株)
- 5) チタン工業(株)／鈴与(株)／鈴与カーゴネット(株)
- 6) 日本通運(株)
- 7) 日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)／日本通運(株)
- 8) YKK AP(株)／日本通運(株)

⑤ 「令和6年度 グリーン物流パートナーシップ会議 物流パートナーシップ優良事業者表彰」を実施

本会議は、グリーン物流の推進に向けて荷主と物流事業者が連携を深める場として平成17年に発足したもので、国土交通省、経済産業省、日本ロジスティクスシステム協会と物流連が会議・表彰制度の運営に当たっており、複数事業者間のパートナーシップにより、物流分野の環境負荷低減に関して特に顕著な功績があった取り組みに対して表彰を行っている。本年度は、以下の通り表彰を行った。

- ・開催日：令和6年12月23日(月)
- ・場 所：砂防会館別館

本年度は16件の応募があり、以下の10件が表彰された。

- (1) 国土交通・経済産業大臣表彰 各1件
- (2) 物流DX・標準化表彰2件 (3) 物流構造改革表彰2件
- (4) 強靱・持続可能表彰2件 (5) 特別賞2件

⑥ 物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会 (略称：カーボンニュートラル情報交換会)

2050年カーボンニュートラルや2030年の中期目標に向けた動き、国や産業界の対応や物流業界の取り組み等について、有識者による講演や会合メンバーによる事例発表を通じて、情報交換を行っているほか、環境負荷低減に資する産業施設の見学も開催している。本年度は、3回の会合を行い、先進的な取り組みを行っている物流企業、荷主企業、学識経験者と、様々な角度からの講演会及び施設見学会を行い、情報提供と、参加同士での情報共有の機会とした。

- ・第1回会合：令和6年6月5日(水)
鈴与株式会社 齋藤宏行 氏による講演会「物流における環境負荷軽減の取り組み」
及び情報交換会
- ・第2回会合：令和6年7月10日(水)

小西医療器株式会社 大阪ソリューションセンターを見学

- ・第3回会合：令和7年2月12日(水)

慶應義塾大学 総合政策学部教授 白井さゆり氏による講演会

「世界で高まる環境経営の重要性」及び情報交換会

⑦ 各種表彰事例の普及

上記の通り、会員企業等における環境活動の促進に資するため、「物流環境大賞」、「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」等を受けた優良事例を紹介する講演会を開催するなど、普及啓発に努めた。

(5) 経営効率化委員会関係

①令和6年度第1回経営効率化委員会

- ・開催日：令和6年9月10日(火)

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約200名（対面18名、オンライン約180名）
- ・講 師：流通経済大学流通情報学部 教授(株)NX総合研究所 顧問) 大島弘明氏
- ・テーマ：「物流の2024年問題の現状と課題
～昨今の行政と物流業界の動向について～」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：27名（対面参加18名、オンライン参加9名）
- ・議 題：a. 令和6年度 上期活動報告
b. 令和6年度 下期活動計画（案）

委員会では、令和6年度上期活動報告として、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（高齢者活躍推進）における活動報告、「官民物流標準化懇談会」及び「パレット標準化推進分科会」、「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画等について事務局から説明があった。

続いて、下期活動計画として、新たにダイバーシティ推進ワーキングチーム（障がい者活躍推進）を立ち上げる旨とその活動予定等について事務局から説明が行われ、下期活動計画は原案通り承認された。

②令和6年度第2回経営効率化委員会

- ・開催日：令和7年3月3日(月)

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約80名（対面16名、オンライン約65名）
- ・講 師：株式会社T2 代表取締役CEO 森本成城氏

- ・テーマ：「Level 4 自動運転トラックを活用した物流サービスの実現へ向けて
～ 完全無人運送サービス実現の見通し ～」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・出席者：27 名（対面 15 名、オンライン 12 名）
- ・議 題：a. 令和 6 年度下期 活動報告
b. 令和 7 年度 活動計画（案）
c. 先進技術活用促進に向けた新たな取り組みについて

委員会では、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（障がい者活躍推進）の活動状況、施設見学会、「官民物流標準化懇談会」及び「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画等について事務局から説明が行われた。

続いて、令和 7 年度活動計画（案）として、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（障がい者活躍推進）の調査検討を継続すること、「先進技術の活用」、「物流デジタル化」等に関する検討、及び施設見学会の実施等の説明が事務局から行われ、原案通り承認された。

最後に、物流業界における先進技術の活用を今後さらに推進していくため、委員会として令和 7 年度以降実施していく取り組みについて意見交換が行われた。

③ダイバーシティ推進ワーキングチーム(高齢者の活躍推進)

経営効率化委員会のもとに令和 5 年度に立ち上げた「高齢者の活躍推進」をテーマとするワーキングチーム（座長：東京女子大学 二村真理子教授）の第 5 回（最終回）の会合を開催し、高齢者雇用の現状、各企業が抱える問題点・課題等の把握、及び高齢者の活躍推進のための方策等についての調査検討の最終報告案を取りまとめ、報告書を発行した。

* 第 5 回会合（最終回）

- ・開催日：令和 6 年 5 月 29 日（水）
- ・会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・出席者：19 名（対面参加 10 名、オンライン参加 9 名）
- ・議 題：最終報告案についての概要説明及び質疑応答

* 報告書発行

「物流事業者における高齢者活躍推進に向けた調査検討 報告書」

- ・公表日：令和 6 年 6 月 24 日（月）

④ダイバーシティ推進ワーキングチーム(障がい者の活躍推進)

経営効率化委員会のもとに「障がい者の活躍推進」をテーマとするワーキングチーム(座長：東京女子大学 二村真理子教授)を立ち上げ、計2回の会合を開催した。プレアンケート調査、講演会、物流連全会員を対象としたアンケート調査、及び先進的取り組みを行っている会員企業への個別ヒアリングを実施し、物流業界における障がい者雇用の現状と課題について調査検討を行った。

*第1回会合

- ・開催日：令和6年10月16日(水)

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約80名(対面21名、オンライン約60名)
- ・講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部
指導課長補佐 池田崇文氏
- ・テーマ：「障がい者雇用及び障害者雇用促進法の現状と課題」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：24名(対面21名、オンライン3名)
- ・議題：a. ワーキングチームの概要説明
b. プレアンケート調査の結果報告
c. 物流連会員あてアンケート調査案について

*第2回会合

- ・開催日：令和7年2月26日(水)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：22名(対面14名、オンライン8名)
- ・議題：a. アンケート調査結果報告
b. 障がい者活躍推進のための課題
c. 事業者への個別ヒアリング項目案について

⑤施設見学会

物流業界における「先進技術の活用」、「物流デジタル化」等に関する検討の一環として、花王株式会社豊橋工場内倉庫の見学会を実施し、日本初となる自動運転フォークリフトによる製品のトラックへの積み込み作業を本格稼働させた次世代倉庫施設を見学した。

*施設見学会

- ・開催日：令和6年11月20日(水)

- ・見学先：花王株式会社 豊橋工場（愛知県豊橋市）

⑥「官民物流標準化懇談会」及び「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画

総合物流施策大綱の重要施策である物流標準化の実現に向け、産学官が連携して課題や推進方策の議論・検討を行う「官民物流標準化懇談会」が設置・開催されており、物流連会長が構成員として参画している。

また、同懇談会の下に「パレット標準化推進分科会」、「モーダルシフト推進・標準化分科会」が設けられており、物流連も構成員として参画している。「パレット標準化推進分科会」については令和6年6月の最終取りまとめ公表をもって活動を終了した。

*パレット標準化推進分科会 最終取りまとめ公表

- ・公表日：令和6年6月28日(金)

*第4回 モーダルシフト推進・標準化分科会

- ・開催日：令和6年7月31日(水)
- ・会 場：オンライン開催

*第4回 官民物流標準化懇談会

- ・開催日：令和6年11月5日(火)
- ・会 場：中央合同庁舎第3号館4階 幹部会議室

(6) その他

①国土交通大臣との意見交換を実施

令和6年9月18日(水)、斉藤国土交通大臣と物流連の会長・副会長との意見交換会が開催された。これは、物流革新及び賃上げ・価格転嫁の実現に向けて意見交換を行う会合であり、出席した会長・副会長がそれぞれの立場から意見を申し述べ、最後に斉藤大臣から国としての取り組み等について発言があった。

2. 公益目的支出計画による事業活動

実施事業＜継続事業＞に関する事業報告

① ＜継続事業１＞ キャリア教育支援事業

大学生などが物流事業について理解を深める機会を提供するため、物流業界合同説明会を東京・大阪会場及びWebにおいて実施した。（学生４７４名が参加）

② ＜継続事業２＞ 物流関連調査・研究事業

調査・研究として、下記の活動を行った。

- a. インドを対象国とする海外物流事情実態調査
- b. 物流事業者における高齢者活躍推進に向けた調査検討
- c. 物流事業者における障がい者の活躍推進に向けた調査検討

③ ＜継続事業３＞ 物流の環境対応に資する活動事業

「物流環境大賞」については、大賞をはじめとした複数の部門賞に関し、令和６年６月に、２９案件、６１社を表彰した。

「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」（※「モーダルシフト取り組み優良事業者表彰」から変更）については、１１月に、１６案件、４１社を表彰した。

「物流パートナーシップ優良事業者表彰」については、経済産業省、国土交通省、日本ロジスティクスシステム協会並びに当連合会の共催で、１２月に、２３回目の本会議を開催し、各表彰を行った。

④ ＜継続事業４＞ 大学寄附講座

教育支援の一環として行っている大学寄附講座については、以下の３大学で実施した。

- ・前期：青山学院大学 毎週月曜日（令和６年４月８日～７月２２日）
東京都立大学 毎週火曜日（令和６年４月９日～７月１６日）
- ・後期：横浜国立大学 毎週木曜日（令和６年１０月１７日～令和７年１月３０日）

3. 広報・情報提供・出版事業等の活動

(1) 会員及び外部への情報提供等

①「新年賀詞交換会」の開催

令和7年1月29日（水）第一ホテル東京において、新年賀詞交換会を開催した。参加者は約210名。

②「物流連セミナー」の開催

新年賀詞交換会に先立ち、「物流革新への取組みと今度の展開」と題して、物流連セミナーを開催した。

本セミナーでは、最初に、①国土交通省物流・自動車局長 鶴田浩久氏②ダイキン工業株式会社物流本部業務部長 磯田芳子氏③株式会社シジシージャパン商品本部生鮮事業部青果チームユニットリーダー 松本和隆氏らの講演の後、敬愛大学教授 根本敏則氏の全体講評を発表する形式で実施した。

出席者は、184名（対面166名、オンライン18名）であった。

③「物流連懇談会」の開催

物流連では、平成24年度から、会員への情報提供や会員相互の情報交換を定期的に図る場として、年2回、物流連会員企業・団体等のトップ（代表者）を講師に招いた講演会を午餐会形式で開催している。

第24回懇談会は、令和6年4月4日（木）学士会館にて、講師に（一社）日本船主協会 会長・川崎汽船株式会社 代表取締役社長 明珍幸一氏を迎え、「海運業界の競争力強化～低・脱炭素化社会の実現と海事人材の確保について～」と題して開催した。参加者は59名。

第25回懇談会は、令和6年10月24日（木）学士会館にて、講師に（一社）日本倉庫協会会長・三菱倉庫株式会社取締役会長 藤倉正夫氏を迎え、「三菱倉庫の過去・現在・未来」と題して開催した。参加者は72名。

④「講演会」等の開催

各委員会等の開催に合わせて、物流連会員向けに、外部講師を招いた講演会等を以下のとおり実施した。（計14回）

テーマ：「物流における環境負荷軽減の取り組み」

（物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会）

- ・開催日：令和6年6月5日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

- ・出席者：21名（対面18名、オンライン3名）
- ・講師：鈴木株式会社 齋藤 宏行 氏

テーマ：「改正物流法説明会」

- ・開催日：令和6年6月11日（火）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約130名（対面36名、オンライン約94名）
- ・講師：国土交通省物流・自動車局物流政策課課長補佐（総括） 林田雄介氏

テーマ：「インドのビジネス環境と機会」（海外物流戦略ワーキングチーム）

- ・開催日：令和6年7月18日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約147名（対面31名、オンライン約116名）
- ・講師：ジェトロ 調査部 主幹（南西アジア）河野将史氏
調査部 アジア大洋州課 深津佑野氏

テーマ：「物流の2024年問題の現状と課題

～昨今の行政と物流業界の動向について～」（経営効率化委員会）

- ・開催日：令和6年9月10日（火）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：約200名（対面18名、オンライン約180名）
- ・講師：流通経済大学流通情報学部 教授(株)NX総合研究所 顧問
大島弘明氏

テーマ：「モディ政権の物流に与える対外経済とその背景」

（海外物流戦略ワーキングチーム）

- ・開催日：令和6年9月19日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：約108名（対面27名、オンライン約81名）
- ・講師：拓殖大学国際部教授 椎野幸平氏

テーマ：「冷凍食品の環境にやさしく持続可能な幹線輸送の実現について」

（物流環境対策委員会）

- ・開催日：令和6年9月24日（火）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：87名（対面18名、オンライン69名）
- ・講師：F-LINE 株式会社 江藤正明氏

テーマ：「揺れる世界の中での ASEAN の現状と課題 -物流を中心に-

(国際業務委員会)

- ・開催日：令和6年10月10日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：91名（対面24名、オンライン67名）
- ・講師：国土舘大学政経学部教授 助川成也氏

テーマ：「障がい者雇用及び障害者雇用促進法の現状と課題」

(障がい者活躍推進ワーキングチーム)

- ・開催日：令和6年10月16日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：約80名（対面21名、オンライン約60名）
- ・講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部
指導課長補佐 池田崇文氏

テーマ：「自動車生産世界4位のインド、小型車のグローバル生産拠点化進む」

(海外物流戦略ワーキングチーム)

- ・開催日：令和6年12月12日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：約93名（対面25名、オンライン68名）
- ・講師：株式会社フォーイン企画調査部部長 前田偉康氏

テーマ：「世界で高まる環境経営の重要性」

(物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会)

- ・開催日：令和7年2月12日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：39名（対面22名、オンライン17名）
- ・講師：慶応義塾大学 総合政策学部教授 白井さゆり氏

テーマ：「物流事業者／顧客における日本主導の国際規格策定」

(海外物流戦略ワーキングチーム)

- ・開催日：令和7年2月20日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：約62名（対面20名、オンライン42名）
- ・講師：一般財団法人 日本規格協会
システム系・国際規格開発ユニット 水野由紀子氏

テーマ：「Level 4 自動運転トラックを活用した物流サービスの実現へ向けて」

～ 完全無人運送サービス実現の見通し ～」（経営効率化委員会）

- ・開催日：令和7年3月3日（月）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：約80名（対面16名、オンライン約65名）
- ・講師：株式会社T2 代表取締役CEO 森本成城氏

テーマ：『物流2024年問題』への対策とモーダルシフト推進」（物流環境対策委員会）

- ・開催日：令和7年3月13日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：22名（対面15名、オンライン7名）
- ・講師：株式会社コクヨロジテム 松浦鉄男氏

テーマ：「JBIC as a Navigator ～日本企業の海外進出支援について～」

（国際業務委員会）

- ・開催日：令和7年3月21日（金）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：36名（対面19名、オンライン17名）
- ・講師：株式会社国際協力銀行 高橋勝茂氏

⑤物流連「会報（Grow）」の発行

会員との交流を図るため、令和6年度には、年4回（6月、9月、12月、3月）発行した。

⑥ホームページを活用した情報発信強化

ホームページの会員専用ページを活用して、会員向けに講演会資料、各種報告書等の情報提供を実施し、会員への情報発信強化を図った。

⑦「物流連のご案内」

物流連の組織や活動を紹介する「物流連のご案内」をより分かりやすく編集し、物流業界関係者に向けたアピールや、会員・賛助会員の拡大などに活用している。

⑧メールマガジンによる情報発信

現在、物流連のメールマガジンは1,450人強の配信登録があり、物流に関わる業界・行政等のニュースや各種統計情報、研修の案内等の情報発信を行っている。令和6年度も、概ね20日間隔で配信した。

⑨「論説委員・解説委員との懇談会」の実施

メディア関係者に物流の現状と課題、取り組みの方向性等について理解を深めてい

ただため、令和7年2月、国土交通省幹部の参加を得て、主要な新聞社・テレビ局の論説委員・解説委員と物流連幹部の懇談会を昨年引き続き開催し、「物流の2024年問題」等について意見交換を行った。

(2) 出版事業

「数字でみる物流」の発行

2024年度版の物流担当者必携のポケットブック「数字でみる物流」を令和6年12月に発行した。これは、我が国の物流動向（国内物流、国際物流、輸送機関別輸送、貨物流通施設、フォワーダー、消費者物流、情報化等の動向）について、最新数値を使い、表・グラフ等にてわかりやすく詳細に解説したものである。

(3) 研修事業

実務講座の開催

下記テーマによる実務研修シリーズを計3回開催した。

- a. 新任担当者のための「物流・ロジスティクス入門講座」
令和6年9月4日(水) 11名 (会場：砂防会館)
- b. 「物流現場業務改善の実務」
令和6年9月10日(火) 8名 (会場：砂防会館)
- c. 「物流コスト管理入門セミナー」
令和6年9月17日(火) 13名 (会場：砂防会館)

(4) 物流EDI事業

下記の業務を行うとともに、関係者に情報提供を行った。

- ・物流EDI標準「JTRN」及び「物流XML/EDI標準」の維持管理
- ・ホームページ及び物流EDIセンターメールマガジンを通じての情報発信及び物流EDIの普及活動
- ・サプライチェーン情報基盤研究会等のEDI標準化団体との連携及び委員会への参加を通じた他業界との交流による普及活動
- ・流通業界のEDI標準推進団体である流通BMS推進協議会への参加
- ・RFID等EDI関連技術の情報収集と物流情報化への適用事例の検討
- ・「物流情報標準化検討委員会」への参加

(5) サイバーセキュリティ関連

内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)が支援する重要インフラ分野の業界で構成するセプターカOUNシル(重要インフラ15分野、21セプターで構成)

に、物流セプター幹事として参加し、サイバーセキュリティに関する業界横断的な情報交換・情報収集を行っている。令和6年12月には、NISCが主催するサイバーセキュリティに関する全分野一斉演習に国土交通省、物流事業者とともに物流セプター事務局として参加した（同演習には869組織、6,981名が参加）。

また、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報共有化を推進した。加えて、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報の共有化を図った。

4. 総会・役員会等の開催状況

(1) 総会

令和6年度定時総会

- ・開催日：令和6年6月28日（金）
- ・会場：第一ホテル東京4階「プリマヴェーラ」
- ・出席者：40名 委任状47名
- ・議題：【報告事項】令和5年度事業報告について
【第一号議案】令和5年度決算(案)について
【第二号議案】役員を選任を求める件について

(2) 正副会長会議

①第1回正副会長会議

- ・開催日：令和6年5月21日（火）

②第2回正副会長会議

- ・開催日：令和6年10月31日（木）

③第3回正副会長会議

- ・開催日：令和7年3月14日（金）

(3) 理事会

①第1回理事会

- ・開催日：令和6年5月21日（火）
- ・会場：海運クラブ 303号室
- ・出席者：理事総数28名中、出席者20名
監事総数 2名中、出席者 1名
- ・議題：【第一号議案】令和5年度事業報告（案）について
【第二号議案】令和5年度決算（案）について
【第三号議案】役員候補者の選任について
【第四号議案】令和6年度定時総会の招集について

②第2回理事会

- ・開催日：令和6年6月28日
- ・会場：第一ホテル東京 4階「フローラ」
- ・出席者：理事総数28名中、出席者16名

監事総数 2名中、出席者 2名

- ・議 題：【第一号議案】役員候補者の選任について
【第二号議案】常勤役員に対する退職慰労金について

③第3回理事会

- ・開催日：令和6年6月28日（金）
- ・会 場：第一ホテル東京4階「フローラ」
- ・出席者：理事総数28名中、出席者17名
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議 題：【第一号議案】正副会長、理事長、代表理事及び業務執行理事の選定について

④第4回理事会

- ・開催日：令和6年12月9日（月）
- ・会 場：海運クラブ 303号室
- ・出席者：理事総数28名中、出席者17名
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議 題：【第一号議案】令和6年度事業報告（4月～10月）（案）について
【第二号議案】公印の取扱い等に関する規程の一部改正について
【第三号議案】物流環境大賞表彰規程の改正について

⑤第5回理事会

- ・開催日：令和7年3月17日（月）
- ・会 場：海運クラブ 304号室
- ・出席者：理事総数28名中、出席者18名（うちWeb参加3名）
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議 題：【第一号議案】令和7年度事業計画（案）について
【第二号議案】令和7年度収支予算（案）について
【第三号議案】賛助会費規程の一部改正について
【第四号議案】常勤役員の報酬等について
【第五号議案】新規会員の入会について

5. 会員の異動

会員種別	会 員 数		増減数
	6年度末現在	5年度末現在	
正会員(団体会員)	14	14	0
正会員(企業会員)	80	82	-2
正会員 計	94	96	-2
賛助会員	41	43	-2

Ⅱ. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等

特記すべきことは無い。

Ⅲ. 事業報告の付属明細書について

事業報告書に詳細に記載したので、特記すべきことは無い。

以上